

彼方「かなた」

校長通信
H29.12.15
Vol.22

【期末保護者会で伝えたかったこと】



保護者の皆さん、白山中の学校教育目標『みがき合い・支え合う、心豊かたたくましい生徒』、覚えていただけたでしょうか。『みがき合う』という最初の二つは、決して受け身ではない、自ら考え、互いに助け合うと

グループ活動を多く取り入れたりすることで、考えを共有して、何が分かったか、何ができるようになったかをはっきりさせるように努めています。② **心の教育**：「生命尊重」や「思いやり」に重点を置いた道徳の授業を推進してきました。また、はじめのアンケート調査で一学期に訴えてきた二十名の生徒も、その後三カ月以上いじめと感ずることが起きていなかったのが無事に解消という判断をしました。十一月のアンケート結果で、また新たに五名の生徒が訴えてくれました。内容は悪口を言われたというものでしたので、指導を継続し解消に向けて見守っていきたいと思います。

③ **安全安心**：長欠対策推進校として、校内適応教室を開設することができました。それを足掛かりに登校できるようになった生徒もいます。話を聴くことを大切にし、受容的な態度で接するようにしながら今後も継続指導していきたいと思います。冬季トレーニングや部活動等、放課後の活動や下校指導等も全校体制で行い、生徒の安全に努めてきました。事故報告の件数も少なく、大きな交通事故等もなかったのは何よりでした。

④ **生徒主体**：体育祭や合唱コンクール等の行事運営や生徒会を中心とした委員会活動、日常の部会活動では、各学級や学年の課題を把握し、自分たちでできることは何かを考えて、積極的に取り組む姿が見られ、大きな成果をあげました。特に三年生の変容や二年生のリーダーシップ、一年生の自主性の向上には目を見張るものがありました。⑤ **三つの伝統**：校内での「明るく元気な挨拶」が

とても意識されました。自分から挨拶する生徒が本当に増えました。「美しく響く歌声」は、合唱コンクールに留まらず、自他ともに認める日常の学級活動として取り組む姿が見られています。課題は「心を磨く清掃」です。「黙働清掃」を意識し、自分の清掃分だけでなく、気づいたところを自分で片付け、きれいにしようとする意識はまだまだです。三学期の卒業期を目指して、心の行き届いた清掃に全校で取り組みたいと思います。

二、研究と課題

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）を意識し、三年後の新しい学習指導要領の完全実施に向けた取り組みを行ってきました。十月に実施した全教員による校内授業研は大変意義深く、効果的でした。生徒と共に授業を作り上げながら、新しい学習指導要領の主旨を校内に周知していきたいと考えます。

三、連携推進

小中一貫教育の実施に向けての連携を始めました。教務主任を中心に何をどのように連携するかを検討しています。三学期には方針を出していきたいと思えます。最後になりましたが、本校駅伝部の関東大会並びに全国大会出場に際し、保護者の皆さんはもとより多くの地域の方々に温かいご支援、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



いうことであり、後半の二つは、相手の気持ちを考え、自分や仲間を大切にできる「心豊か」で、どんな困難な課題にもしっかりと向き合い、解決しようとする「たくましい」人であれという強い願いです。それは校歌の中に謳い込まれている「純乎志操」であり、「一人の友も置き去らじ」、「忍と耐」なのです。「白山中は『友情』と『耐心』を大切にし、『人間教育』を進める学び舎であれ」という開校当時の地域の皆さんの学校への熱い思いの表れです。

全ての活動の中心に学校教育目標を据えながら、今学期も重点項目を中心に取り組んでまいりました。一、白山ブランドの構築

① **授業改善**：「自ら、共に学ぶ生徒の育成」と主体的・対話的で深い学びの実践を通して、教員の研修テーマとして取り組みました。学習課題をわかりやすく提示したり、学習形態を工夫して